曽於市 子ども議会

8月17日、曽於市子ども議会が市議会議場で行われました。

市内の子どもたちに議会や市政について興味・関心を持ってほしいと開催。市内小学5年生から中学2年生までの23名が堂々とした態度で質問を投げかけました。

川畑　麻美　さん

問　市内の公園やその周りにゴミがたくさん捨ててあります。公園内にゴミ箱を設置できないでしょうか。

市長　20年程前からゴミ箱を設置しないようになりました。当時は、おむつや生ゴミなどが分別されないまま捨てられていました。その処分に大変困っていたことがゴミ箱を置かない大きな理由です。

脇田　唯　さん

問　宿泊学習や修学旅行を多くの学校と合同でできたら、友達がたくさんできると思います。

教育長　市教育委員会では小規模校の交流学習を積極的に進めています。小規模校の児童が大規模校と変わらないような充実した学習活動ができるように努力していきます。

坂口　瑠太　さん

問　メリケントキンソウが、たくさん増えています。駆除してもらえますか。

市長　人々の生活に害をおよぼすような植物が身近に発見された場合は、できるだけ早く駆除したいと思います。

濵田　仁誠　さん

問　登下校時に県道をものすごいスピードで走る車がいます。暴走する車を取り締まって、安全に登下校できるようにしてほしいです。

市長　車を取り締まるのは警察の仕事ですが、それよりも大事なのが、日頃から交通安全に心がけることです。市内で事故がおきないように警察や交通安全協会と協力して取り組んでいきます。

重住　帆香　さん

問　柳迫校区には病院がなく、病気をしたときは末吉の町や都城市まで行かなくてはなりません。診療所をつくることはできませんか。

市長　現在、曽於地域は医療過疎地域と言われています。医師不足が深刻で小児科や産科などを維持できない病院も出てきています。診療所の開設は難しいのが現状です。

藤　直也　さん

問　登下校中にゴミや吸いがらをよく見かけます。家電などの大型のゴミが捨て

子ども議員プロフィール

末吉小学校　６年
川畑（かわばた）　麻美（あさみ）　さん

高岡小学校　６年
脇田（わきた）　唯（ゆい）　さん

岩南小学校　５年
坂口（さかぐち）　瑠太（りゅうた）　さん

光神小学校　６年
濵田（はまだ）　仁誠（じんせい）　さん

柳迫小学校　６年
重住（しげずみ）　帆香（ほのか）　さん

菅牟田小学校　６年
藤（ふじ）　直也（なおや）　さん

大隅北小学校　６年
榎並（えなみ）　幸甫（こうすけ）　さん

大隅南小学校　５年
大園（おおぞの）　あやか　さん

財部小学校　６年
水久保（みずくぼ）　健心（けんしん）　さん

財部南小学校　６年
山之口（やまのくち）　利沙（りさ）　さん

末吉中学校　２年
櫛下（くしげ）　大翔（ひろと）　さん

てある場所もあります。市内の不法投棄についての対策を教えてください。

市長　市役所では、広報紙や有線放送、ホームページなどで不法投棄をしないように呼びかけています。また、巡回パトロールも行っています。それでも不法投棄はなくなりません。自分のことだけを考えず、みんなできれいな曽於市をつくっていきましょう。

榎並　幸甫　さん

問　昨年、大隅北校区に公園をつくってくださいとお願いしました。その後どうなりましたか。

教育長　今年度、大隅北校区に公園をつくることになりました。榎並さんたちの願いが叶いますので、お友達と仲良く遊んでください。

大園　あやか　さん

問　大隅南小の校舎は湿気で廊下がぼこぼこしています。大雨の日には窓から雨が入ってきます。建て替えられますか。

教育長　学校を建て替えるには、多くのお金が必要です。現在のところ校舎を建て替える予定はありません。しかし、皆さんがいい環境で勉強ができるように雨漏りなどの修繕を行っていきます。

水久保　健心　さん

問　食べ物がおいしい曽於市でB-1グランプリを開いたらいいと思います。たくさんの人が来てくれてとっても楽しいと思います。

市長　今年は11月3日に弥五郎伝説の里で「元気だ！そおグルメコンテスト」を開催します。曽於市の食材を全国にアピールできる楽しいイベントにしたいと考えています。

山之口　利沙　さん

問　財部南小や他の人数の少ない学校が、この先も存続するために、市として考えていることを教えてください。

市長　曽於市は1年間に約500人ずつ人口が減少しています。子どもの数が増え転入生も増えるように、保育料を安くしたり、転入者向けの住宅の建設などを行っています。皆さんも大人になったら曽於市に住み続けてください。

櫛下　大翔　さん

問　市から英語検定、数学検定、漢字検定を受ける際の検定料を補助してもらえないでしょうか。

教育長　検定料の補助は、他の市でも実施しているところもありますので、これから検討してみたいと思います。

八木　遥華　さん

問　そお星人の知名度を高めるためにイベント等の開催を提案します。例えば、ソーセージを使用した料理コンテストを開催し、1位の選手が地元企業や大手メーカーと一緒に商品を開発します。話題性があり注目されるきっかけになると思います。

市長　そお星人には、曽於市のPRの先頭に立って頑張ってもらいたいと考えています。グッズやDVD、ソーセージを使ったホットドッグの販売などを検討しているところです。

竹下　楓華　さん

問　ミートセンターあおきの歩行者用の信号を両方向に設置してほしいです。また、外灯も付けてほしいです。

市長　歩行者用の信号については、付けるようにお願いをしました。設置できるとの返事はないところです。外灯は今後設置するかどうか検討していきます。

川﨑　愛美留　さん

問　転入者や移住者を迎え入れるために、各校区に市営住宅を建設し、受け入れ体制の充実を図るべきだと思います。

市長　昨年は岩北にも地域振興住宅を1棟建設しました。住宅の建設には大きな予算を必要とします。応募のあった地域の中から子どもの少ない地域などを選び、年に10棟前後建設しています。

佐野　陽仁　さん

問　「住みよさランキング」で下位の曽於市には何が足りないと考えていますか。

市長　特に若い人たちの働く場所が少ないと思います。多くの若者が働く場所を求めて地元を離れていきます。働く場所の確保や、安心して子育てできる環境づくりに、より一層取り組んでいきます。

福田　雅斗　さん

問　授業を分かりやすく、楽しく受けられるようにタブレットを使用して授業を受けたいです。

教育長　10月から、中学校は全校に配置する予定です。小学校も今年は、2つの小学校にモデル的に配置できるように準備を進めています。これからも、児童・生徒の皆さんが学習しやすい環境を整えていきます。

小白木　萌花　さん

問　障害者の方や高齢者の方々が過ごしやすいようにどのような工夫をしていますか。

市長　7月末現在、市には障害のある方が3122人、65歳以上の高齢者が14047人でした。困ったときに相談できる窓口をたくさん設けて、できるだけ早く相談に応じられるようにしています。障害者の方や高齢者の方が、いろいろなサービスを利用できる仕組みを作っています。

大隅中学校　2年
八木　遥華　さん

櫟小学校　6年
竹下　楓華　さん

岩北小学校　5年
川﨑　愛美留　さん

諏訪小学校　6年
佐野　陽仁　さん

深川小学校　6年
福田　雅斗　さん

岩川小学校　6年
小白木　萌花　さん

笠木小学校　6年
高野　真嘉　さん

恒吉小学校　6年
谷口　文音　さん

月野小学校　6年
丸岡　拓人　さん

財部北小学校　6年
橋本　侑綺人　さん

中谷小学校　5年
石神　愛瑠　さん

財部中学校　2年
宗像　龍輝　さん

高野　真嘉　さん

問　市内を通る道路の整備や管理はどのように行われていますか。いつも安心して通れる道路であるためにどのような取り組みがありますか。

市長　笠木小学校近くの歩道を調査したところ、雑草が生えて歩きにくいところが見受けられましたので県に伝えました。危ない場所は市の作業班でも対応しますので、連絡してください。

谷口　文音　さん

問　市立図書館の貸出冊数を1回5冊から増やしてほしいです。

教育長　以前行ったアンケートで、5冊の貸出で少なすぎるという意見がなかったので、5冊を上限として貸出を行っています。子ども読書の日の毎月23日や読書週間には特別に10冊まで貸出できるようになっています。この様な機会を利用して多くの本を借りてください。

丸岡　拓人　さん

問　月野小から八合原にかけての坂道が、滑りやすくて危険です。滑りにくい路面にしてください。

市長　管理者である県に、路面の洗浄等ができないのかをお願いしました。県としては新学期の前までに、通学路の清掃を行いたいとのことでした。

橋本　侑綺人　さん

問　思いやりタクシーの台数を増やす計画があれば教えてください。

市長　財部北小学校区の思いやりタクシーは、1台で2つのコースを運行しています。利用者は年々少なくなっていて、増便する計画は今のところありません。今後利用者が増える場合は、見直しを行っていきます。

石神　愛瑠　さん

問　溝ノ口洞穴に多くの観光客が来てくれるようになりました。道路を広くできないでしょうか。

市長　昨年、一部の改良工事によりマイクロバスまでは通行ができるようになりました。今後も拡張工事やトイレの設置も含めて検討していきます。

宗像　龍輝　さん

問　畜産業を盛り上げるために、どのような対策を考えていますか。後継者育成のための活動や講座はありますか。

市長　様々な補助金などで増頭を積極的に推進しています。後継者育成や研修を目的に品評会を行ったり、農業体験学習を開催しています。今後も畜産業を盛り上げるために対策を考えていきます。